

市立函館病院に通院・入院中または過去に通院・入院された
患者さままたはご家族の方へ

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせください。

2026年12月25日

研究課題名	当院におけるがん終末期患者の身体的拘束の現状と課題
研究機関名 長の氏名	市立函館病院・病院長 森下 清文
研究責任者名 所属	市立函館病院 臨床心理科 赤松 直子
[多機関共同研究] 研究代表者	なし
[多機関共同研究] 共同研究機関名 研究責任者名	なし
研究の目的	身体的拘束は患者さまの安全を守る目的で行われておりますが、一方で患者さまの心身に弊害や合併症をもたらすことも知られています。がんの終末期に身体的拘束を行うことは極力差し控えることが望ましいと思われますが、リスクを回避するために行われている実状があります。そこで、当院の状況を調査し、身体的拘束の原因と対策を検討することで身体的拘束に頼らないケアにつなげていきたいと考えております。
研究の方法	<p>〈対象となる患者さま〉 2023年4月1日～2025年3月31日までに当院においてがんで亡くなられた方のうち、亡くなる前の10日間に身体拘束が行われていた患者さま。</p> <p>〈利用する情報〉 電子カルテ内診療記録より、患者さまの背景(年齢、性別、診断名など)、身体拘束の状況(死亡10日前から死亡日までの身体拘束の有無、その理由など)等の情報を収集し分析します。</p>
研究実施期間	実施許可日（情報の利用開始日：2025年12月頃）～2026年6月
他の研究機関への 試料・情報の提供	他の機関への試料・情報の提供はない
外国への 試料・情報の提供	なし
個人情報の取扱い	<p>この研究に関する資料やご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さまの個人情報や研究に支障となる事項以外はお知らせすることができます。</p> <p>研究に利用する患者さまの情報に関して、お名前、住所など、患者さま個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会などで発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利</p>

	用いたしません。
連絡先・相談窓口	北海道函館市港町 1 丁目 10 番 1 号 市立函館病院 臨床心理科 赤松 直子 電話 : 0138-43-2000 (代表)